

京(みやこ)の
環境みらい
創生事業

エコな技術開発を応援します。

事業
プラン
募集!!

最長3年間
最大1000万円を助成

＜募集期間＞
平成23年8月22日から10月21日まで





平成23年度 ^{みやこ} 京の環境みらい創生事業

目的

環境分野の優れた技術シーズや斬新なアイデアを全国から公募し、新規性及び独自性に優れ、かつ実現性の高い研究開発等を促進することにより、本市における環境関連技術・サービス・情報の集積を図る。

助成内容

- ア 助成額 1件につき、総額1,000万円以内（全助成期間を通じた総額）
- イ 助成率 助成対象と認められる経費の5分の4以内
- ウ 助成期間 最長3年間

対象者

以下のアまたはイの該当する方

- ア 京都市内に事業所（研究機関、工場などを含む。）を有する、企業、個人、特定非営利活動法人など
- イ 京都市内に事業所を有さないものの、本市内の事業者と連携して事業を実施する、本市の環境行政への貢献が特に期待できるなど、本市への貢献度が高いと判断される取組を実施する企業、個人、特定非営利活動法人など

選考過程

23年10月下旬から	資格審査	提出された応募書類による資格要件審査
	予備審査	提出された応募種類による簡易な書類審査
23年11月中旬から	書面審査	提出された応募書類による専門的・学術的見地からの書類審査
23年12月下旬	面接審査	応募者からのプレゼンテーションによる審査
	採 択	選考結果の通知

審査委員（平成23年8月現在）

- 郡 嶋 孝 同志社大学経済学部教授
- 武 田 信生 立命館大学エコ・テクノロジー研究センター長
- 山 本 昌作 山本精工(株) 代表取締役副社長（京都試作ネット前代表理事）
- 小長谷敦子 公認会計士（小長谷公認会計士事務所）
- 内 山 土子 (株)京都リビング新聞社 副編集長
- 坪 内 俊明 京都市環境政策局長



特 徴

- 複数年度にわたる助成
環境分野での先進的な取組が事業化に至るまで長期間に及ぶことを想定し、助成期間を最長で3年間にわたり、最大1,000万円を助成する。
- 収益納付制度
助成終了後5年間は、助成事業の事業化状況を毎年報告してもらい、助成事業の事業化により収益が生じた場合は、助成額を上限に収益の一部を京都市に納付していただく。



助成実績

平成21年度、22年度の新規助成案件は下表のとおりです。



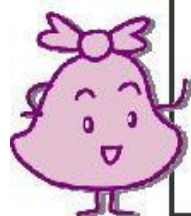
<平成22年度新規助成案件>

1	申請者	アクアフェアリー株式会社
	事業テーマ	低炭素社会型携帯燃料電池の使用後廃棄物の更なる削減技術の確立
	助成金額	22年度：3,200千円 23年度：6,800千円
	概要	アクアフェアリー株式会社が実用化に向けて開発を続けている「水素利用型携帯燃料電池」で使用する交換カートリッジの性能を向上させ、環境負荷の低減を図る。
2	申請者	笠井産業株式会社
	事業テーマ	京都発!!省エネ率50%以上を実現する、個人別空調照明システムの実証開発
	助成金額	22年度：3,500千円 平成23年度：1,600千円
	概要	個人の位置の識別によって効果的、効率的な空調や照明を行うとともに、蛍光管をLED化することで、省エネ効果の大きい「個人別空調照明システム」を開発する。総合省エネ率は、従来比50%以上を目指す。

<平成21年度新規助成案件>

1	申請者	株式会社 エックスレイ プレシジョン
	事業テーマ	循環型社会の構築に有効なリサイクル元素分析システムの開発と事業化
	助成金額	平成21年度：4,780千円 平成22年度：2,980千円
	概要	一般ごみや産業廃棄物の中に含まれるレアメタルを、ごみ処理施設の現場において効果的に分析できる蛍光X線透視分析機器を開発し、レアメタル回収の促進に繋げる。
2	申請者	京セミ株式会社
	事業テーマ	デザイン性に優れた太陽電池による充電機能を備えたランタンの開発
	助成金額	平成21年度：7,900千円 平成22年度：2,000千円
	概要	京セミが独自に開発した球状太陽電池（登録商標名「スフェラー [®] 」）を用いて、昼間に充電し、夜間に点灯するデザイン性に優れたランタンを製造する。
3	申請者	テイカ精密株式会社
	事業テーマ	切り替え式電源システムによる長寿命・省エネLED蛍光管の開発・製造
	助成金額	平成21年度：4,820千円 平成22年度：4,460千円
	概要	長寿命の電源システム（切り替え方式）を開発するとともに、LED蛍光灯の樹脂カバーにレンズ機能を付加し照明効率を上げることにより、長寿命で、省電力のLED蛍光管を製造する。
4	申請者	ミヤコテック株式会社
	事業テーマ	環境対応型成形素材開発と市場ニーズに対応できる製法技術の確立
	助成金額	平成21年度：5,200千円 平成22年度：4,600千円
	概要	植物由来原料を用いた梱包用緩衝材等の製造を目指し、「竹粉末」やサトウキビの搾りかすである「バガス」を用いた新たな発泡体製法の確立を進めていく。

※なお、募集要項及び応募書類は、京都市 環境政策局 循環型社会推進部ホームページ
<http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000078279.html> から
 ダウンロードできます。



**この事業は
家庭ごみの有料
指定袋収入が
使われています**



〈問合せ先〉

財団法人京都高度技術研究所
新事業創出支援部（山口，孝本）

〒600-8813

京都市下京区中堂寺南町 134 番地

電話：075-315-3708

Fax：075-315-6634

